

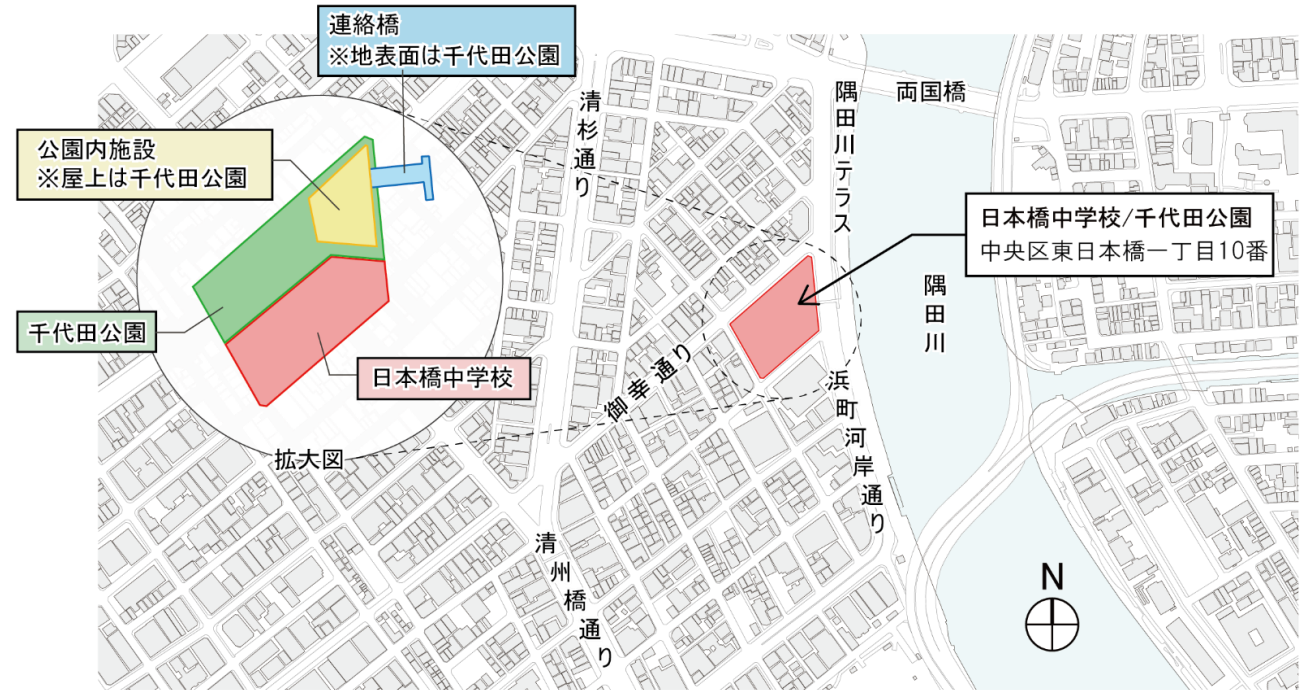
1 計画概要

(1) 敷地の状況

住居表示 : 中央区東日本橋一丁目10番  
 敷地面積 : 5,431.63㎡ (現学校敷地面積: 3,248.73㎡、現公園面積: 2,182.90㎡)  
 (変更後) : 5,434.76㎡ (学校敷地面積: 3,251.50㎡、公園面積: 2,183.26㎡)  
 道路種別幅員 : 北西側 特別区道中日第5号線 幅員16.0m  
 東側 特別区道中日第6号線 幅員22.2m  
 南東側 特別区道中日第181号線 幅員8.0m

(2) 用途地域・地区等

用途地域 : 商業地域  
 建蔽率/容積率 : 80%/500%  
 防火地域 : 防火地域  
 建物高さ制限  
 道路斜線制限 : 勾配1.5、道路反対境界線から25m  
 隣地斜線制限 : 勾配2.5+31m  
 地区計画等 : 街並み誘導型地区計画(日本橋問屋街地区) / 都心部駐車場整備地区  
 景観計画区域(隅田川景観基本軸) / 立体都市公園制度



(3) 建築計画の概要

	日本橋中学校	公園内施設	連絡橋	公園
主要用途	: 中学校	: 地域集会施設	橋用途 : 公園橋	公園種別 : 都市公園 (街区公園)
工事種別	: 新築	: 新築	工事種別 : 新設	工事種別 : 再整備
建物階数	: 地上7階+地下1階+塔屋階1階	: 地上2階	路面高さ : T.P.+9.8m程度	公園名称 : 中央第2・2・14号千代田公園
最高高さ	: 38.0m	: 約10.50m	面積 : 約200㎡	都市計画区域 : 約0.24ha
建築面積	: 約2,576.60㎡	: 約854㎡	橋長 : 約25m	立体の範囲 : 約0.08ha
延床面積	: 約17,768.75㎡	: 約833㎡	支間長 : 約22m	広場面積 : 1F 約430㎡/2F 約230㎡
計画建蔽率	: 79.3%程度	: 39.1%程度	有効幅員 : 約7m	緑地面積 : 約530㎡
計画容積率	: 546.9%程度	: 38.1%程度	橋の種別 : B種の橋	遊び場面積 : 約200㎡
構造種別	: 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	交差道路 : 浜町河岸通り	工事期間 : 令和7年9月～令和11年夏頃
耐火建築	: 耐火建築物	: 耐火建築物	工事期間 : 令和7年9月～令和11年夏頃	附属物 : 昇降機棟
工事期間	: 令和7年9月～令和11年1月	: 令和7年9月～令和11年夏頃	供用開始 : 令和11年夏頃	
主な諸室	: 普通教室(21室)・特別教室 管理諸室・体育館・武道場等	: 多目的室・地域消防活動倉庫 倉庫・防災倉庫・公衆便所		
供用開始	: 令和11年4月	: 令和11年夏頃		

2 コンセプト・整備方針

学校改築コンセプト

「地域の歴史と伝統に包まれ、  
仲間と集い健やかに成長できる学校」  
～千代田公園とともに地域のランドマークを目指して～

整備方針

1 時代に沿った学習環境や心身の成長を育む空間、活発に活動できる体育施設を整備し、良好な教育環境を実現します。

- ①立地特性を活かして景観と方位に配慮した気持ち良い学習環境づくり
  - ㊦隅田川、千代田公園へと景観が開かれた位置に共用部・主動線を配置
  - ㊧明るい南東側に普通教室、特別教室を配置
- ②中高層となる学校施設として合理的な建築計画
  - ㊦安全かつスムーズに移動できる動線を計画（階段、エレベーター、廊下）
  - ㊧体育施設(体育館,アリーナ兼武道場,屋上校庭)を縦に積層させ、最大限の広い空間を確保
  - ㊨普通教室を建物の中央（3～5階）に配置し、授業間移動を最小限に計画
- ③将来に渡り多様な学びに対応できる学習環境づくり
  - ㊦普通教室の面積を十分に確保し、同じフロアに多目的スペースを整備

2 地域と学校、公園が連携して地域の快適性や安全性を高め、地域交流を推進し活気を生み出す施設を目指します。

- ①地域に根差した中学校として、開かれた施設づくり
  - ㊦地域開放諸室を学校専有部と分離し、専用の出入口を設けることで施設開放しやすい計画
  - ㊧公園内施設には多目的スペースを整備し、学校利用のほか地域利用が可能
  - ㊨校舎2階から公園内施設の屋上、連絡橋、浜町河岸緑道、隅田川テラスに繋がる動線を計画

3 低炭素型の建築物を目指すとともに、千代田公園等と一体となり緑豊かな空間を生み出し、快適な都市環境を創出します。

- ①自然豊かな空間を生み出す低炭素型建築物を実現
  - ㊦自然採光、自然換気、雨水利用など自然エネルギーを有効に活用
  - ㊧外皮性能の確保と効率的な設備計画により省エネルギーな施設計画

公園整備コンセプト

「緑・水辺・街がつながる地域の交流拠点」

整備方針

1 公園を中心に、地域、隅田川とつながり、街の回遊性を高めることで、誰もが快適にアクセスできる公園

- ①街からも隅田川からもアクセスしやすい公園計画とし、地域の回遊性や防災性の向上
- ②遊具や広場を設置し、地域の方が日常的に使い、集えるように配慮
- ③スロープ、エレベーター等のバリアフリー動線を確保

2 立体都市公園として、高低差を活かし、緑豊かで眺望の良い公園

- ①千代田公園と連絡橋上部とを緑で連続的につなぐ景観として計画し、浜町河岸緑道と直結
- ②地上部及び公園内施設屋上部などに立体的に緑を配置
- ③公園内施設屋上に隅田川を望む眺望テラスを整備

3 誰もが思い思いの目的で訪れ、様々な活動に対応できる地域の交流の場としての公園

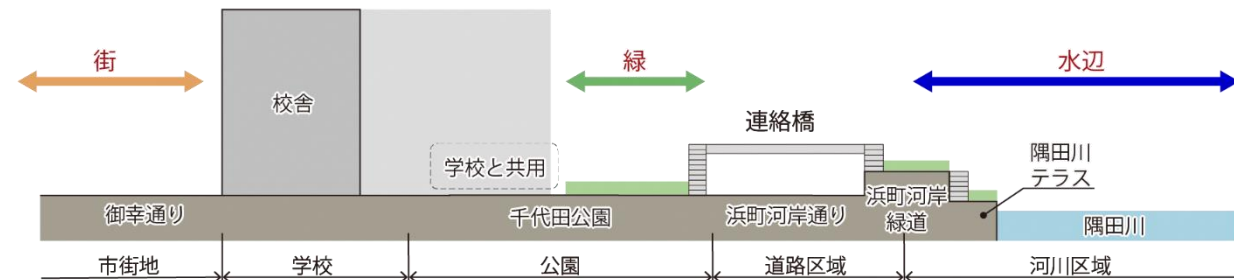
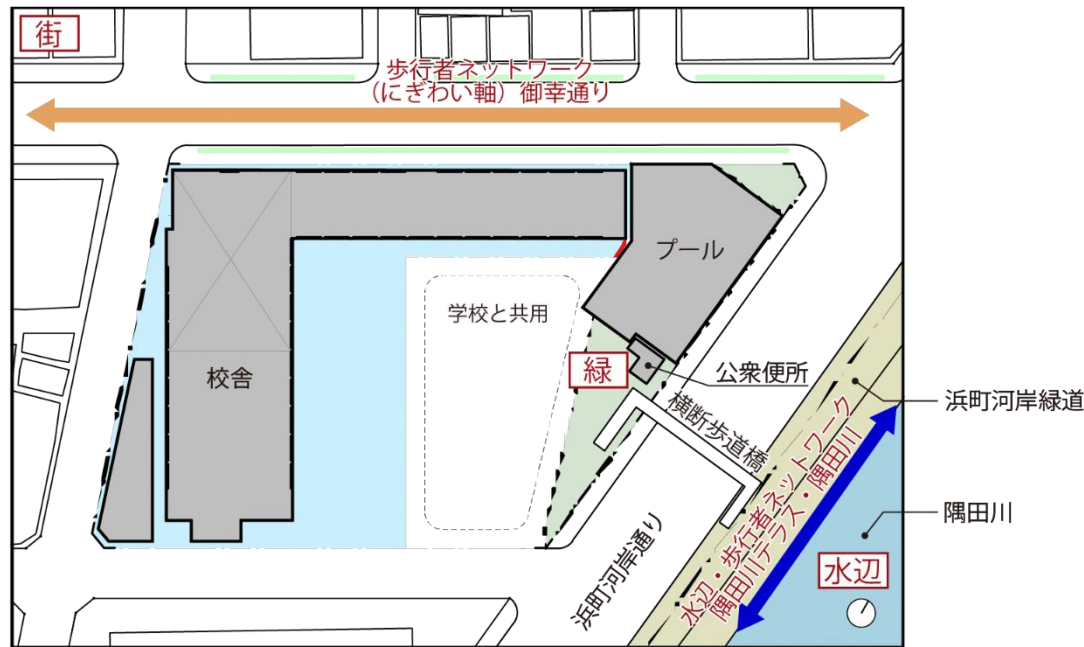
- ①子供たちの遊び場や地域行事にも対応した地域の交流拠点となる広場を計画
- ②広場、かまどベンチ、防災井戸等の防災施設を整備し、地域の防災性を向上

4 関東大震災からの復興として整備した千代田小学校や千代田公園など、この地が積み重ねてきた記憶を継承する公園

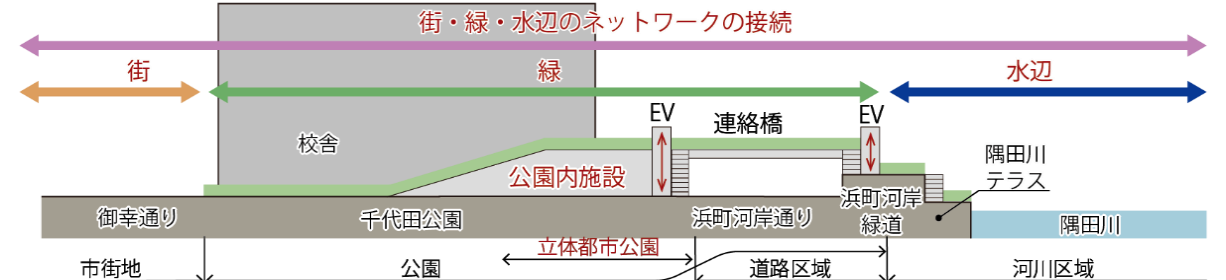
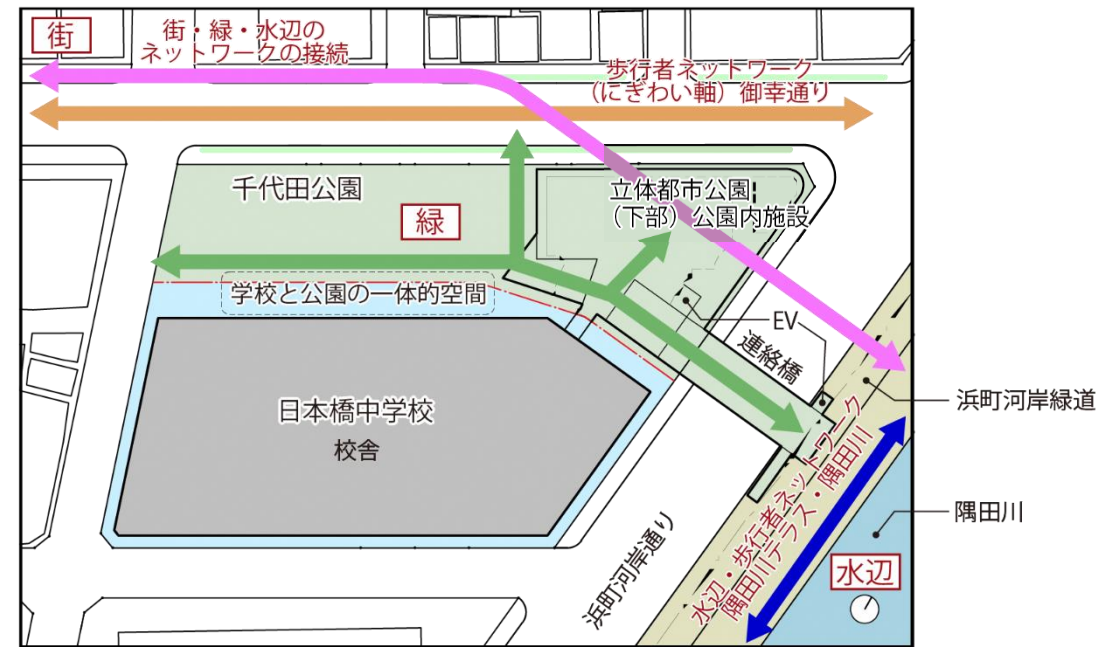
- ①千代田小学校の記憶を活かした施設計画
- ②御臨幸記念碑などの移設再配置

3 配置図

■ 現状



■ 計画案



■ 課題

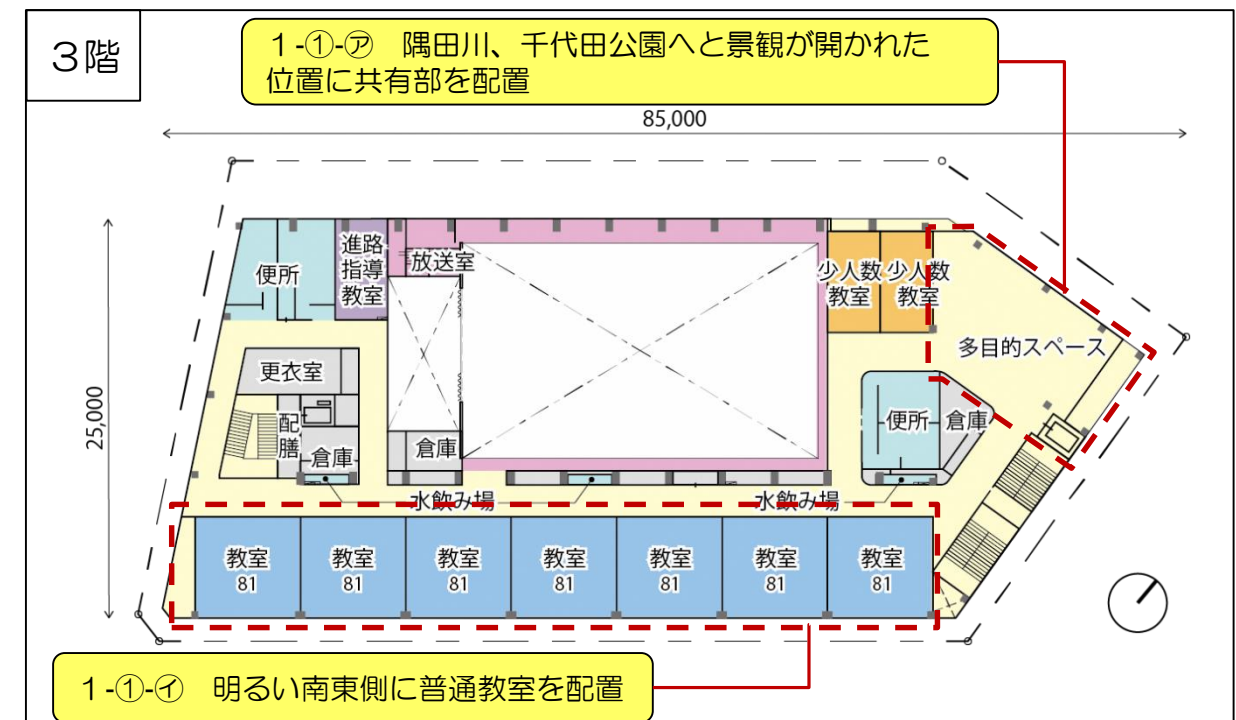
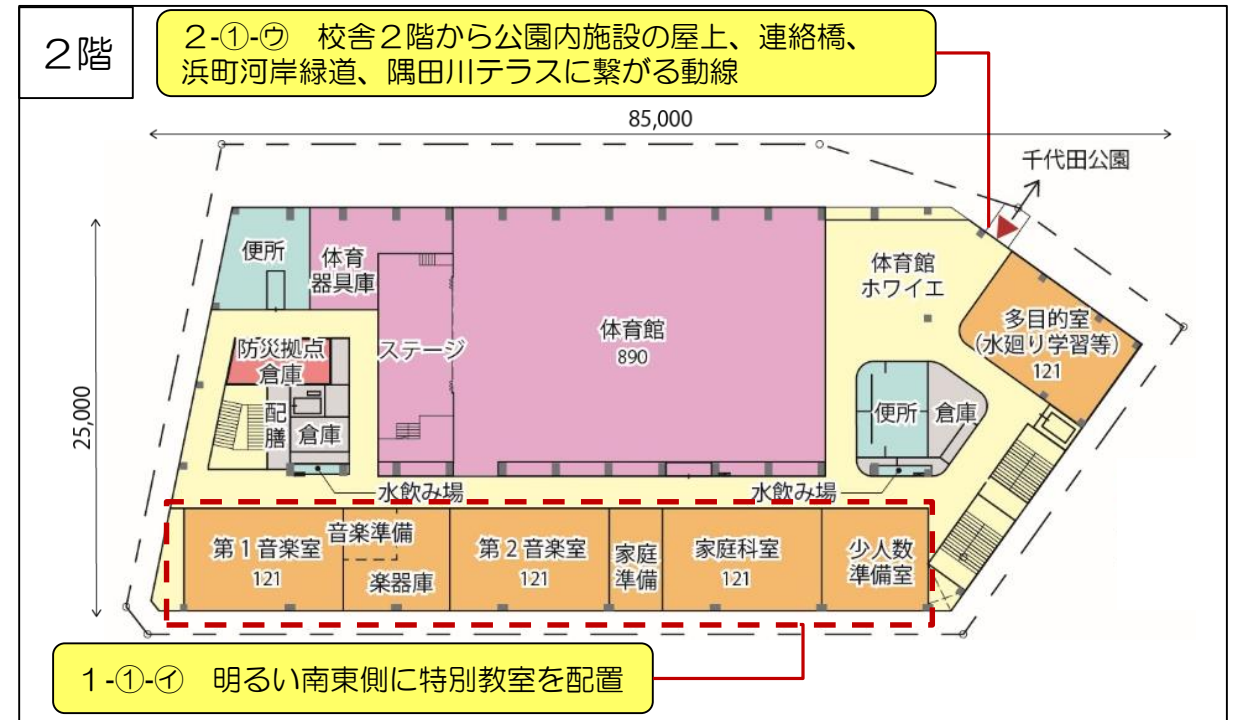
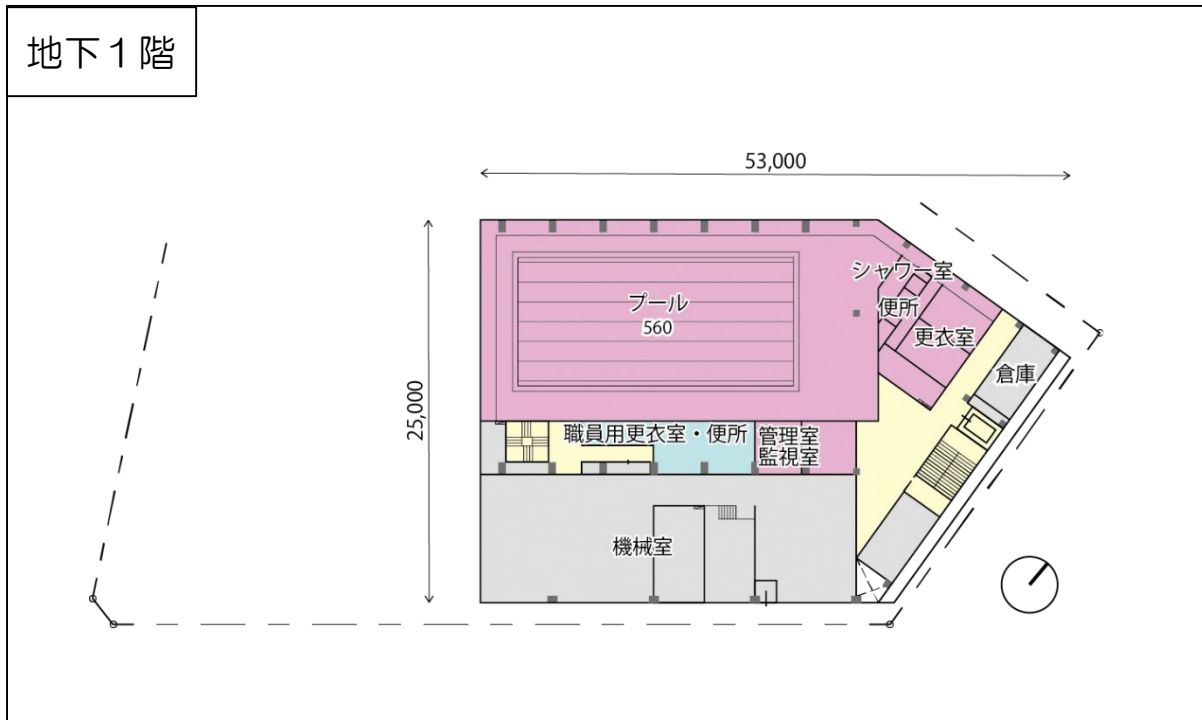
- 1 日本橋中学校の課題
  - (1) 教室数が不足する推計である（令和11年度 17学級（令和4年度推計））。
  - (2) 学校敷地面積が狭隘であり、十分な運動施設（空間）の確保が困難である。
- 2 千代田公園の課題
  - (1) 公園の一部が学校と共用され、都市公園としての機能が十分発揮できていない。
  - (2) 東側の水辺・歩行者ネットワーク（浜町河岸緑道・偶田川テラス）とのアクセス性に乏しい。
  - (3) 歩行者ネットワーク（にぎわい軸）である御幸通りとのアクセス性に乏しい。

■ 対策案

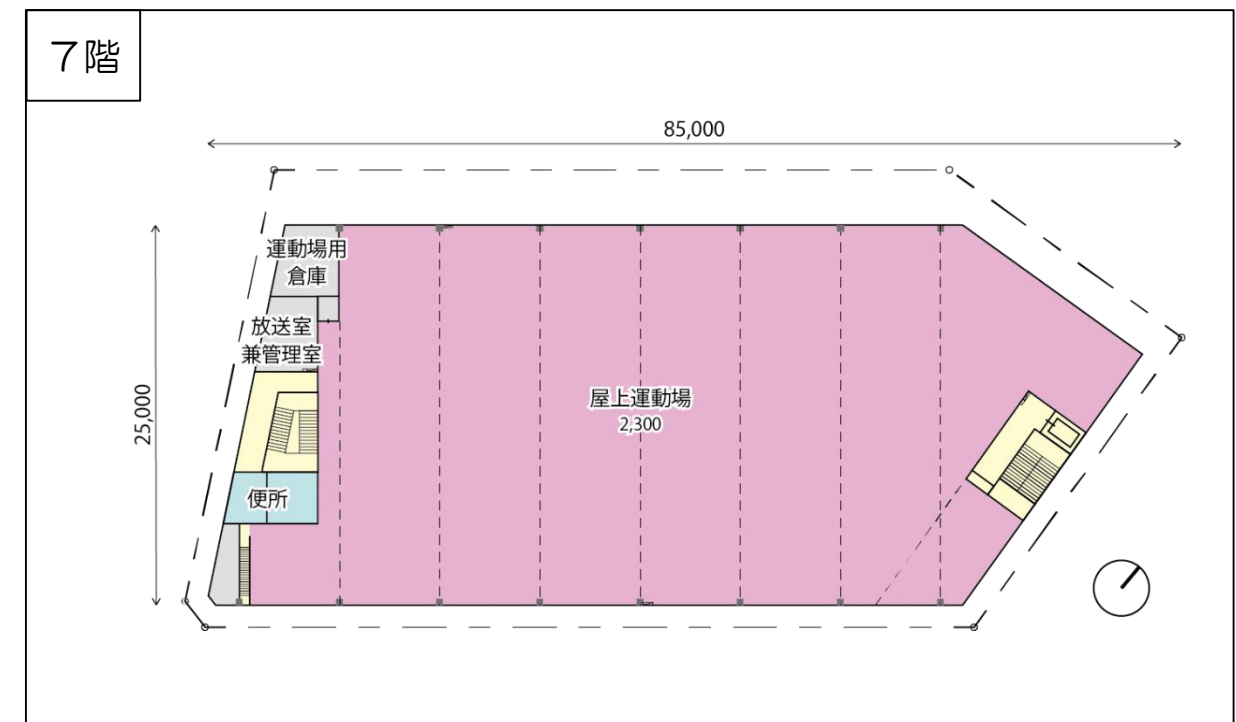
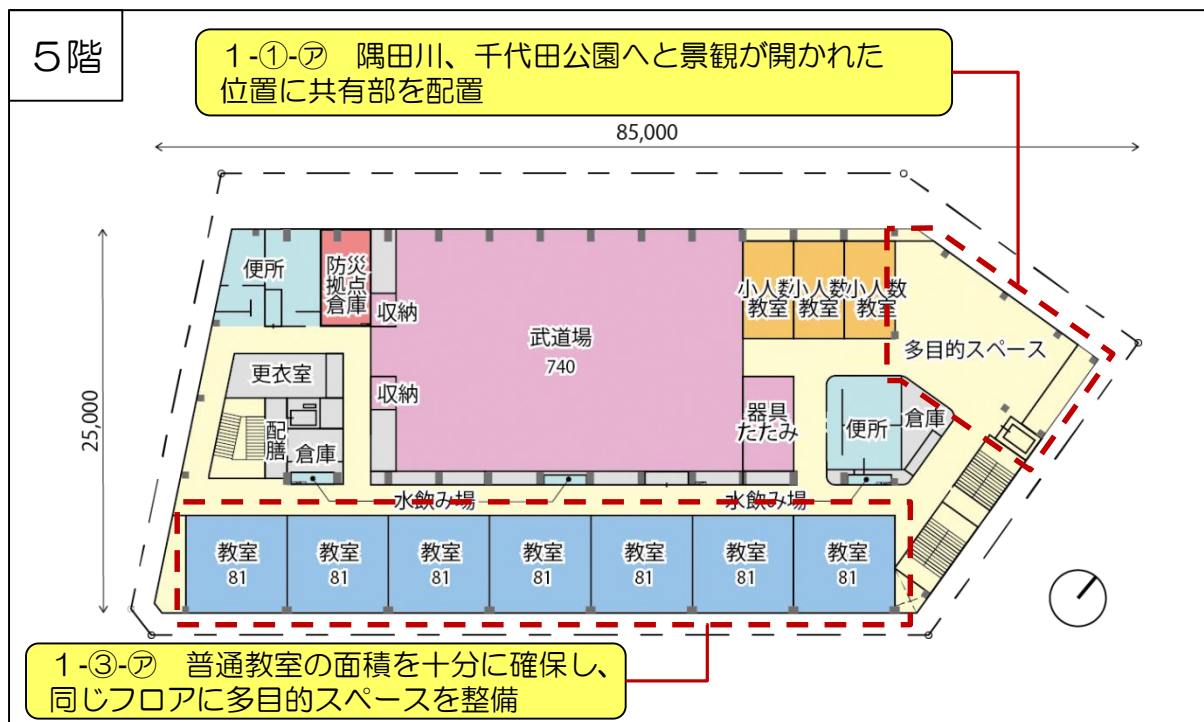
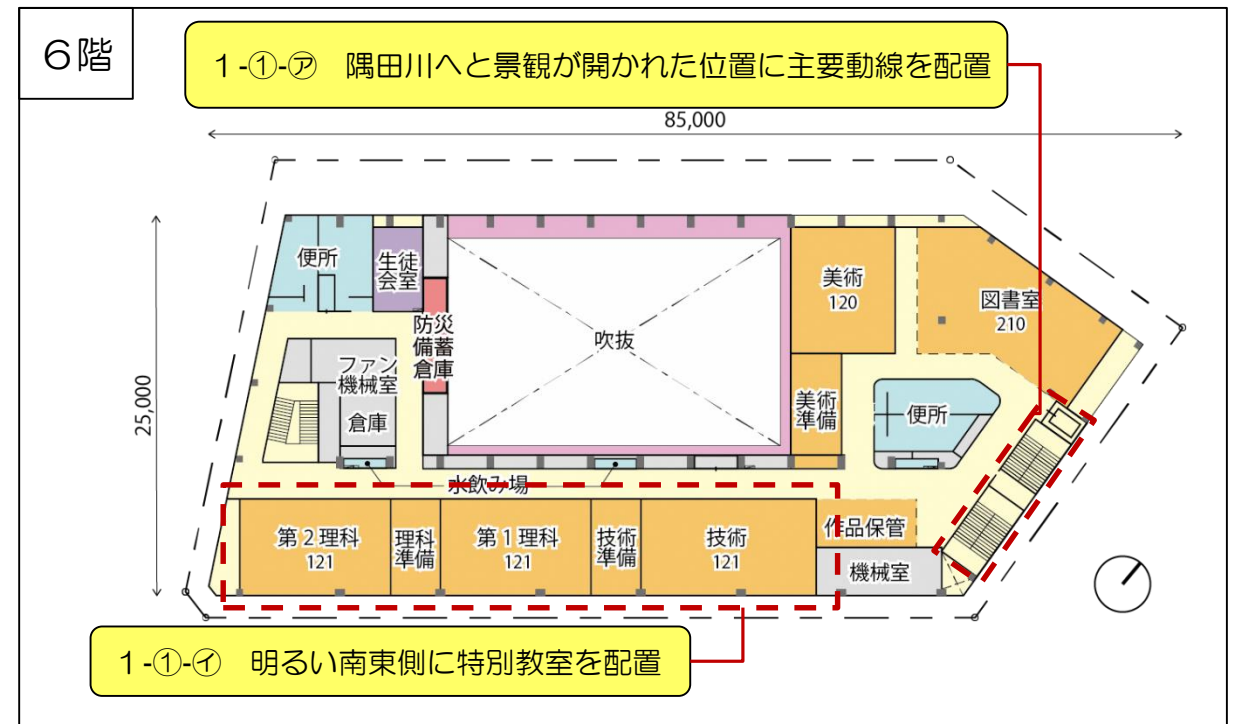
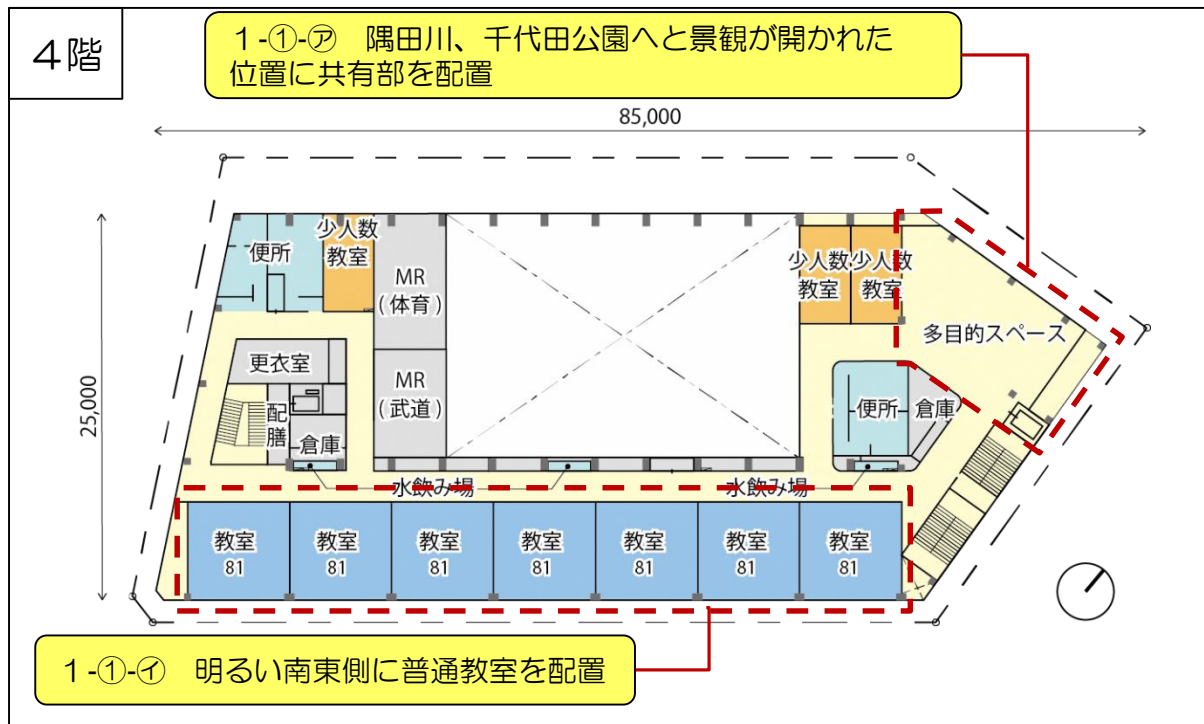
- 1 学校敷地と公園敷地を再配置
  - (1) 敷地の整形化を図り効率的な土地利用を行う。
  - (2) 公園は、街のにぎわい軸である御幸通りに面して配置し、東側の水辺空間には開けた形状とする。
- 2 学校機能の蓄積配置
  - (1) 狭隘な敷地に対して建築面積を最大限に確保し、屋上に校庭を整備する。
  - (2) 体育館・プール・武道場などの必要な学校機能を積層して配置し、高度利用を図る。
- 3 立体都市公園制度の活用
  - (1) 公園の一部を立体都市公園とし、浜町河岸通りの上部に幅員のある連絡橋を再整備して偶田川との連続性を高めることで、街・緑・水辺のネットワークの向上を図る。
  - (2) 立体都市公園の下部空間には新たな公園内施設のほか、公衆便所や防災倉庫などを整備し、地域コミュニティや防災機能の強化を図る。

4 日本橋中学校平面図

- 【凡例】
- 普通教室
  - 特別教室
  - 職員管理室
  - 運動エリア
  - 廊下・階段
  - 防災倉庫
  - トイレ水飲み
  - その他
- 室名下数値：室面積

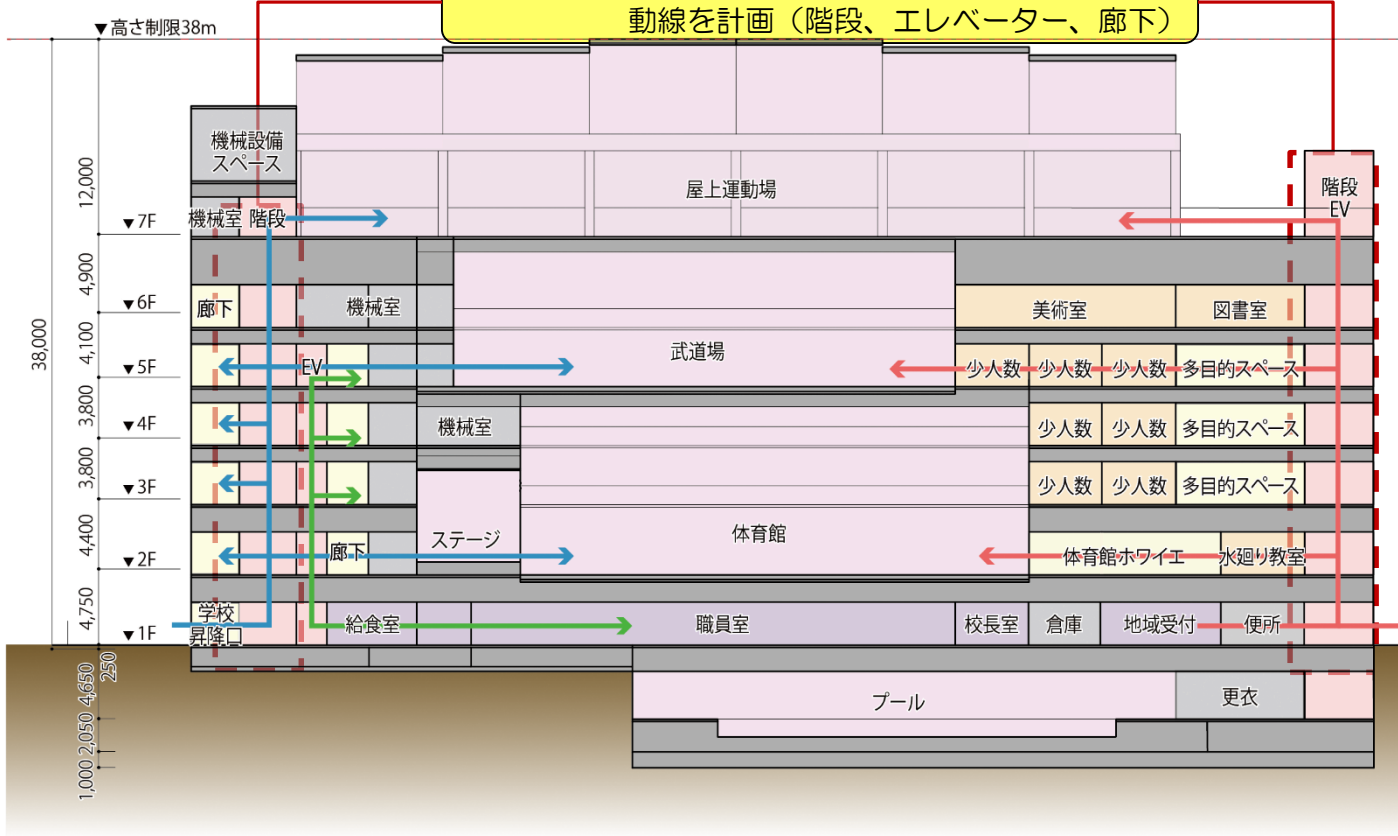


4 日本橋中学校平面図



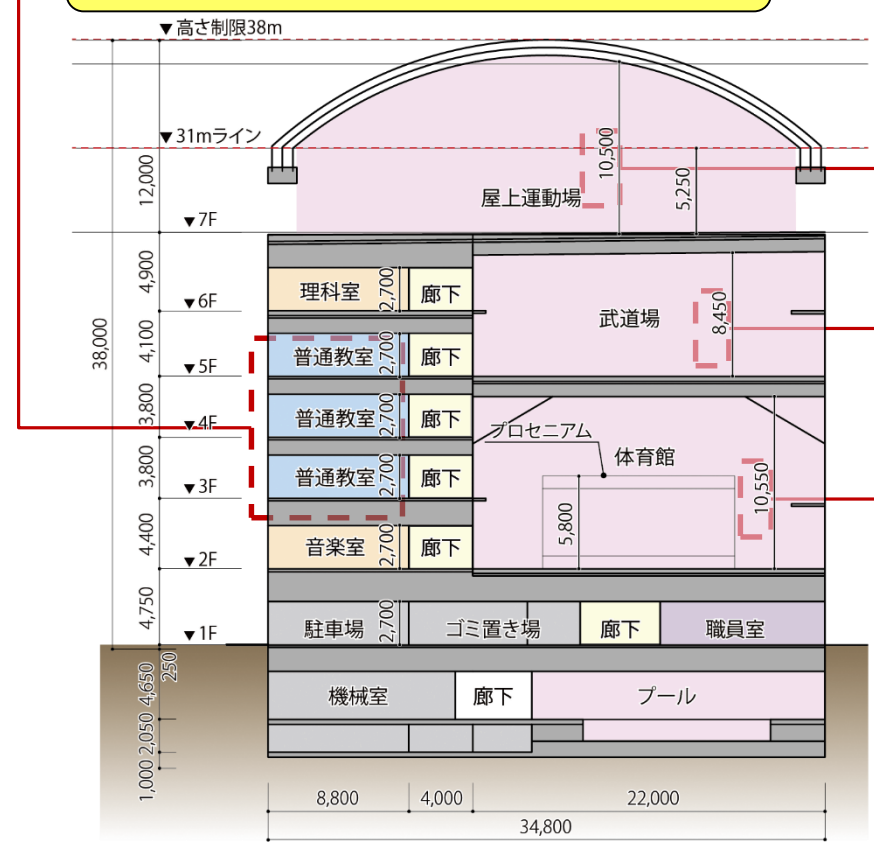
5 日本橋中学校断面図

1-②-㊦ 安全かつスムーズに移動できる動線を計画（階段、エレベーター、廊下）



■A-A'断面図

1-②-㊧ 普通教室を建物の中央（3～5階）に配置し、授業間移動を最小限に計画



■B-B'断面図

1-②-㊨ 体育施設(体育館,アリーナ兼武道場,屋上運動場)を縦に積層させ、最大限の広い空間を確保

6 日本橋中学校動線

(1) 生徒動線

- ①西側と東側に縦動線を分離して配置
- ②東側は移動がスムーズに行えるよう、階段を2本並置
- ③車いす使用者等のためにエレベーターを配置（地下1階から7階にアクセス）

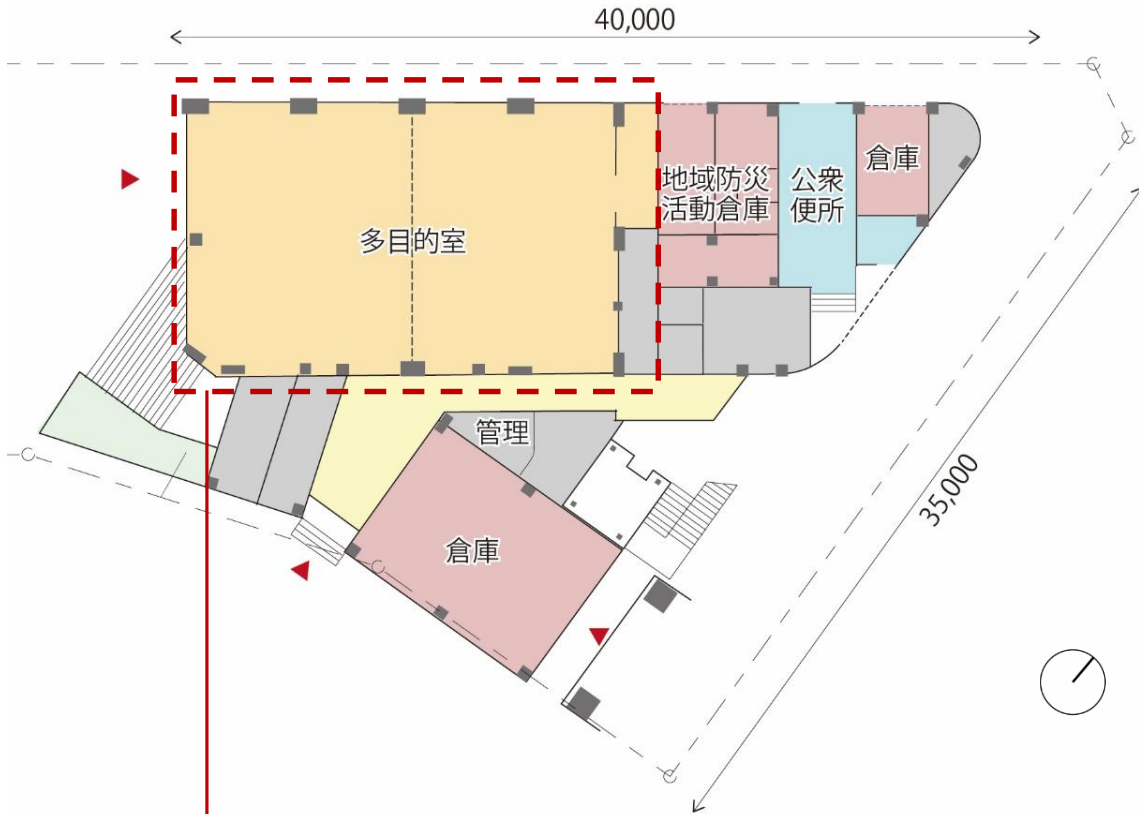
(2) 地域開放動線

- ①生徒が使用する学校昇降口と別に地域開放用の出入口を設けて、学校エリアと地域開放エリアを分離
- ②施設利用者は、地域開放受付、東側の階段・エレベーターを通る動線とする。



7 千代田公園内施設平面図

1階



2-①-① 公園内施設には多目的スペースを整備し、学校利用のほか地域利用が可能

2階

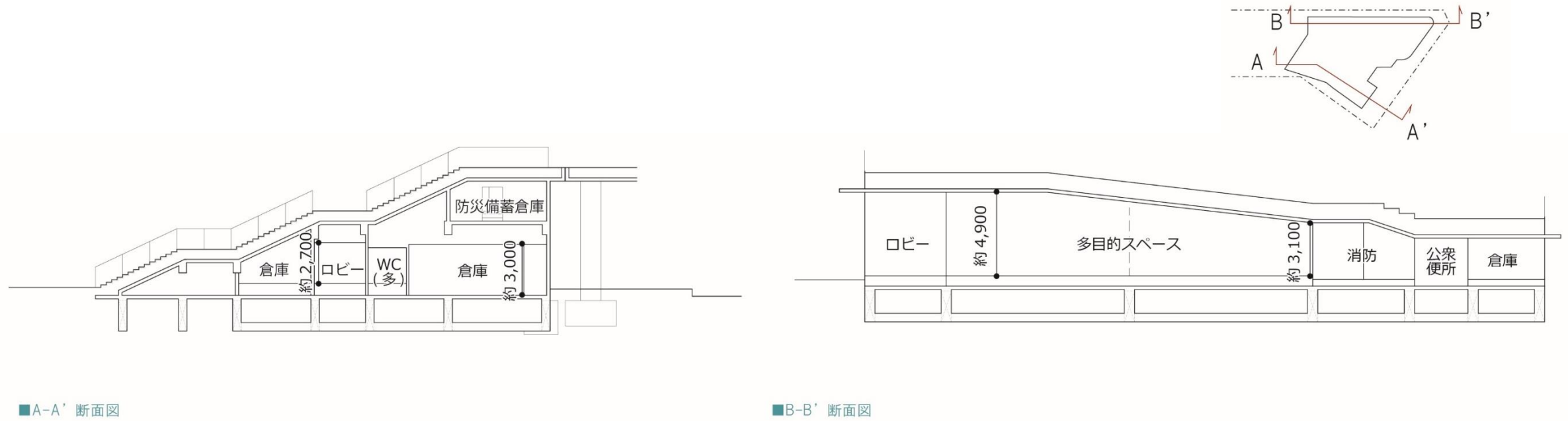


2-①-② 校舎2階から公園内施設の屋上、連絡橋、浜町河岸緑道、隅田川テラスに繋がる動線

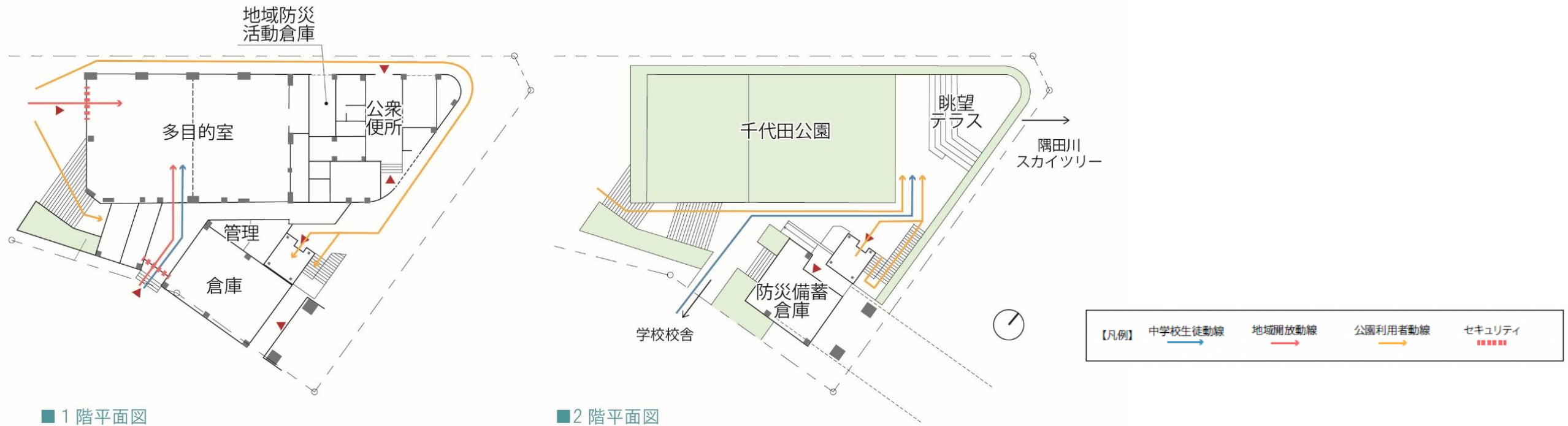
【凡例】

- : 多目的室
- : 公衆トイレ
- : 機械室・その他
- : 廊下・階段
- : 防災倉庫

8 千代田公園内施設断面図



9 千代田公園内施設動線



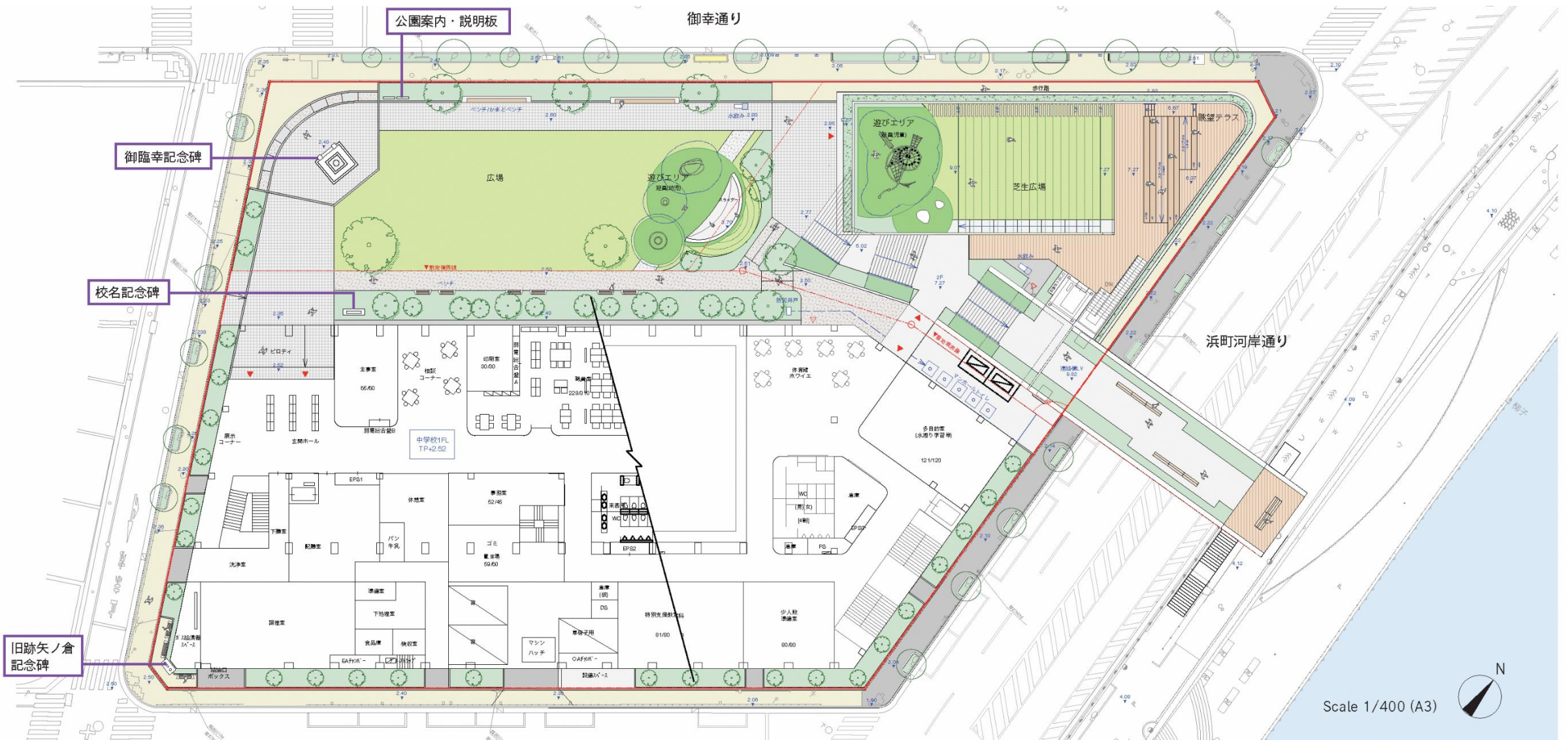


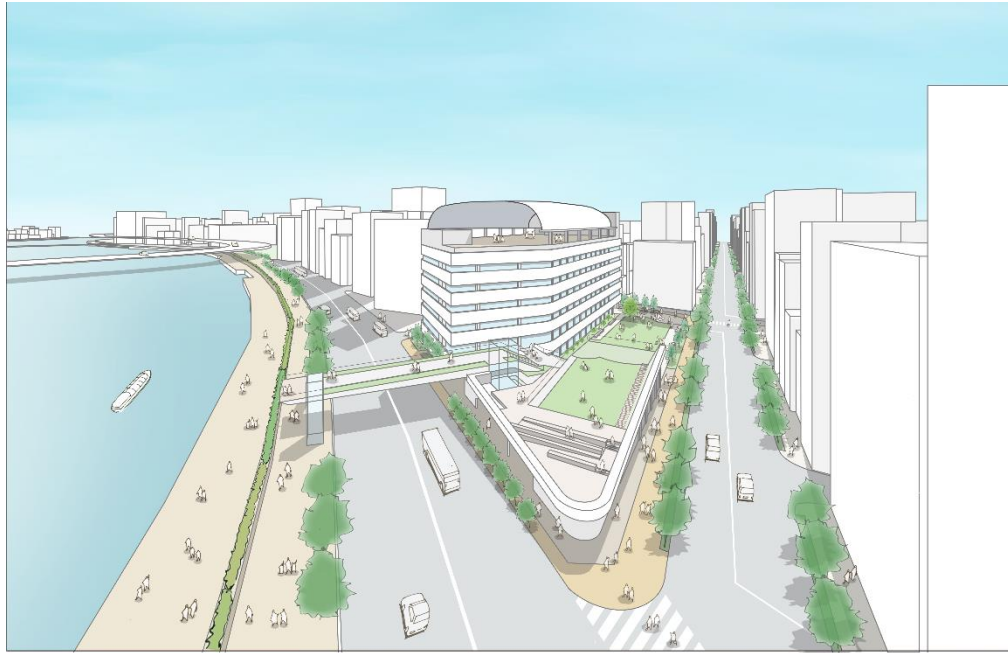
10 千代田公園計画図

- (1) 全体計画
  - ①千代田公園と日本橋中学校の敷地北側は、一体的な修景として計画
  - ②千代田公園と連絡橋上部とを緑で連続的につなぐ景観として計画
  - ③公園内施設屋上・連絡橋は眺望を楽しめる憩いの環境を計画
  - ④地上部・公園内施設屋上それぞれに広場、遊具エリア（幼児・児童）を設置
- (2) 記念碑保存
  - 御臨幸記念碑・説明板は、敷地西側交差点、公園入口に設置

御臨幸記念碑

説明板

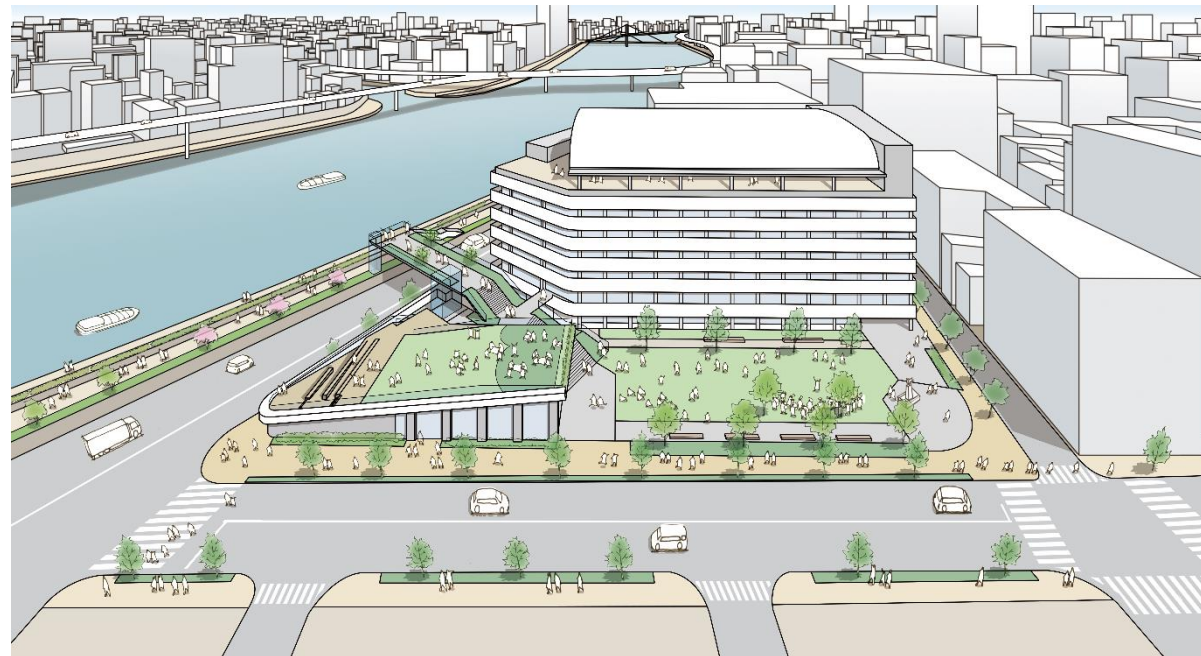




■北側鳥瞰パース



■御幸通りからの眺め

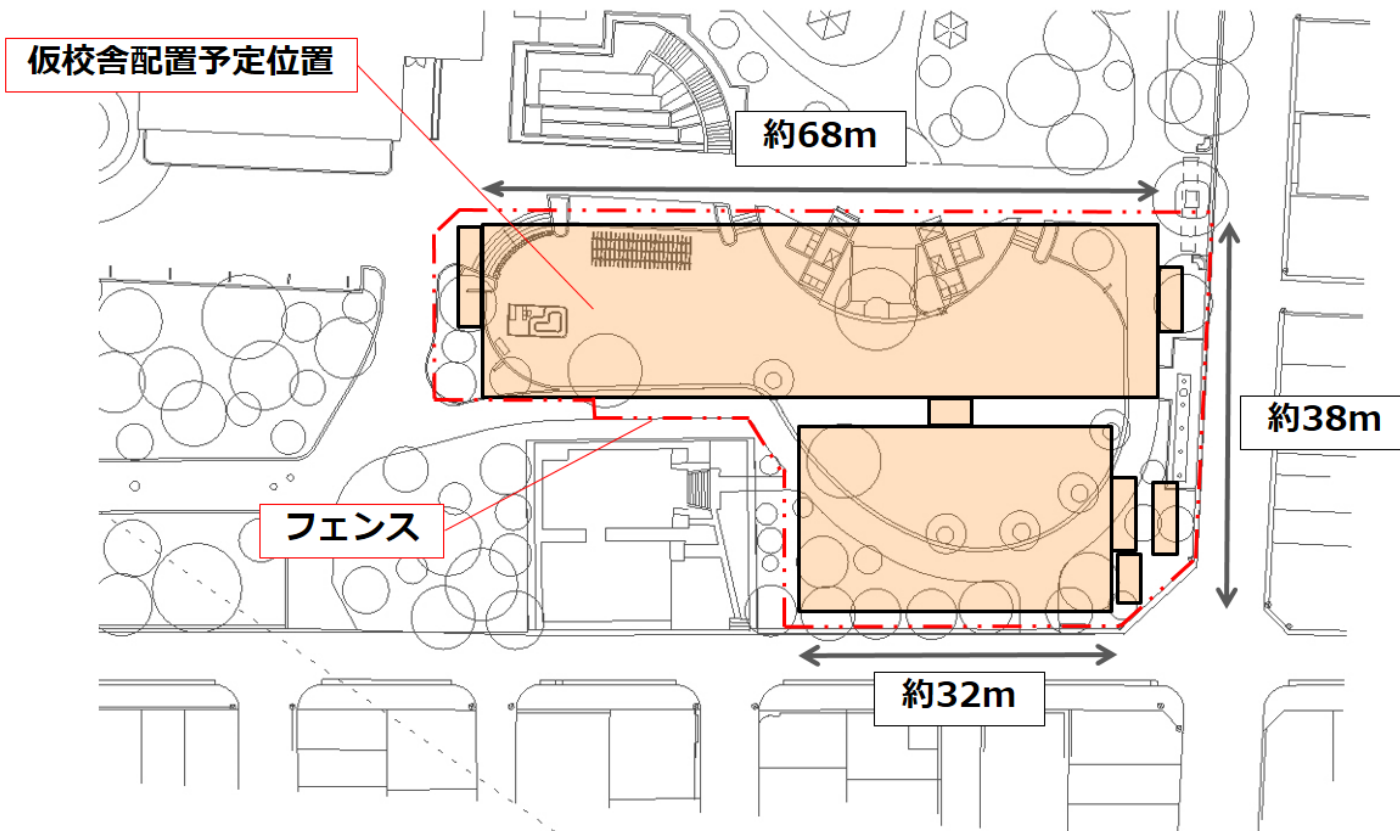


■北西側鳥瞰パース

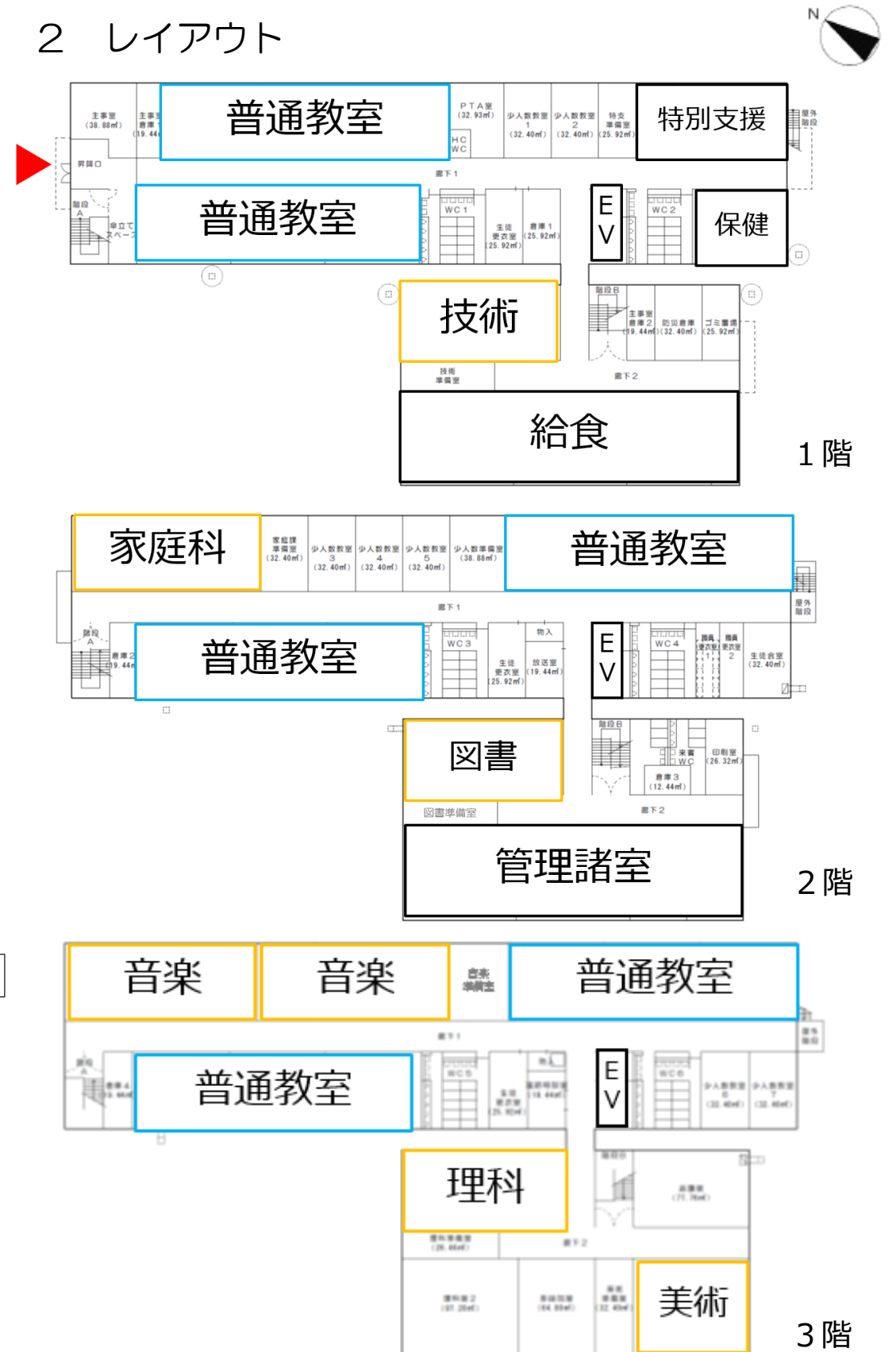
■ 仮校舎 計画概要

- (1) 建設地  
浜町公園内（日本橋浜町二丁目59番1号）
- (2) 構造・規模  
鉄骨造 地上3階建て(高さ：約9.9m) 延床面積 約 5,500 m<sup>2</sup>
- (3) 整備内容
  - ・普通教室（18学級）
  - ・特別教室（理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室、図書室）
  - ・特別支援教室
  - ・給食室、職員室、エレベーター 等
 ※体育授業等は総合スポーツセンター及び浜町運動場を利用

1 配置図



2 レイアウト



■ 全体スケジュール

年度		R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
日本橋中学校	内容		設計	設計	契約 手続き	工事			準備 ●新校舎開設(4月)
				計画 通知	引越				
			試掘	根回し	移植	埋文	埋文		
千代田公園	内容		設計	設計	契約 手続き	工事			●公園 供用開始
			都市計画 手続き	計画 通知	●公園休止				
			試掘	根回し	移植	埋文	埋文		
浜町公園	日本橋中学校 仮校舎		事前調査・設計	計画 通知	整備	引越	仮校舎利用		解体
	公園内作業		根回し	広場 整備	移植	解体 整地			復旧

